



写真手前より、パトロールカー、除雪車、散水車



写真手前より、排水ポンプ車、照明車

『働く車に乗ってみよう！』 元気ハツラツ市・「大垣」

国土交通省木曾川上流河川事務所、NEXCO中日本は8月3日（日）、大垣市中心商店街一帯で開催された「元気ハツラツ市」で、災害時に活躍する災害対策車両などを展示しました。

大垣市と連携した取り組みで、地域住民の方々に国土交通省の災害時の備えを知っていただくため、木曾川上流河川事務所は、災害現場で夜間作業を行う際に活躍する「照明車」、洪水で浸水した際に速やかに水を排水するための「排水ポンプ車」、また、NEXCO中日本は「パトロールカー、除雪車、散水車」の計5台を並べ、各担当者がそれぞれの車両の役割などを行き交う人たちに説明しました。子供たちは、普段、目にする事の少ないこれらの車両を珍しそうに見入り、実際に車両の運転席に乗り込み、ハンドルや走行用レバーを動かしたり、モニターに興味津々な表情で眺めながら、運転手気分を味わいました。展示車両の横には特設プールが設けられ、水遊びを楽しむ子供たちの賑やかな笑い声が、一日中、商店街一帯に響き渡っていました。



【照明車の操作体験】

- 子供の横に専門オペレーターが付き、子供たちは照明車のアームを上下左右させたり、点灯させたりする体験を行いました。体験者の一人は、「遊園地にはない乗り物で、とても面白かった」とコメントしてくれました。

【その他車両の乗車体験の様子】



散水車



パトロールカー



パトロールカー

散水車に乗り込み運転手気分を味わう少女。パトロールカーで車の誘導及びサイレンを鳴らす模擬体験をする少年。



散水車からホースを使った放水イベントも子供たちに好評。



元気ハツラツ市を盛り上げた沿道に並ぶ屋台や物産展。

都市対抗初Vの西濃運輸 大垣市でパレード 1万6千人！

- 当日は、第85回都市対抗野球大会で初優勝した西濃運輸ナインの祝賀パレードと優勝報告会が、元気ハツラツ市が開催された駅通りで行われ、詰め掛けた約1万6千人の市民らが祝福をしました。西濃運輸の野球関係者がオープンカーに乗り込み、選手たちと約600mをパレード。沿道からは、「おめでとう」「ご苦労さん」と大きな拍手と歓声が沸き起こっていました。



写真：岐阜新聞提供

元気ハツラツ市に参加して

- 今年の元気ハツラツ市は、曇り空で8月にしては涼しく、過ごしやすい1日でした。西濃運輸の全国制覇や、大垣日大高校の甲子園出場など、大垣市にとって明るいニュースが多く、まちは活気に満ちていました。
- 今回展示した照明車は地味な存在ですが、予想以上に操作に興味を持つ子供が多く、アームの伸縮や、回転、照明の屈伸など、他の展示車両にはない動きが子供達の心に興味を掻き立てたようでした。また、操作体験の様子を見ていると、照明車の大きさに圧倒されている子供も多く、遠くからでも目立つため、沿道を歩く多くの大人にも興味を持っていただくことができました。
- 最後になりますが、平穩時には気が付きにくいですが、水害などの災害はいつ発生するかわかりません。未来の地域づくりや防災を担う子供達に、災害への備えと、国土交通省の復旧等の取り組みについて、今回のイベントを通じて学んでもらえたのではないかと思います。



木曾川上流河川事務所
水防企画係長 岩田 孝治

※乗車体験をされた子供たちの写真については、ご両親等の承諾を得て掲載させていただきました。